



平成 25 年 11 月 6 日

各 位

会社名 日本山村硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 山村 幸治
(コード番号 5210 東証第一部)
問合せ先 経理部長 荒木 陽一
(TEL 06-4300-6000)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 8 月 8 日に公表しました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の第 2 四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 14 日に公表しました通期の業績予想について下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間の予想と実績の差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|--|--------|------|------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 37,000 | 450 | 750 | 2,950 | 28.09 |
| 今回発表実績 (B) | 36,700 | 416 | 715 | 1,462 | 13.92 |
| 増減額 (B - A) | △299 | △33 | △34 | △1,487 | — |
| 増減率 (%) | △0.8 | △7.5 | △4.6 | △50.4 | — |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期) | 37,305 | 600 | 719 | 442 | 4.21 |

2. 通期連結業績予想の修正（平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 71,000 | 300 | 650 | 400 | 3.81 |
| 今回修正予想 (B) | 71,000 | △500 | 100 | 600 | 5.71 |
| 増減額 (B - A) | 0 | △800 | △550 | 200 | — |
| 増減率 (%) | 0 | — | △84.6 | 50.0 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期) | 70,539 | 114 | 516 | 209 | 1.99 |

3. 差異および修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間の予想と実績との差異の理由

第2四半期連結累計期間は、本日公表しました「特別損失の計上に関するお知らせ」にある事業構造改善費用2,123百万円を計上したため、四半期純利益は予想を下回ることとなりました。

(2) 通期連結業績予想の修正の理由

第3四半期以降は、ガラスびん関連事業の需要の低迷、物流関連事業の新規開拓の遅れ、ニューガラス関連事業においてはプラズマテレビ用粉末ガラスの売上がなくなると見込まれています。しかし、本年6月に持分を取得しました秦皇島方圓包装玻璃有限公司を期末に連結子会社化することで、売上高は前回発表予想と同額を見込んでおります。これらの影響等により、営業利益および経常利益は予想を下回る見込みとなりました。特別損失に事業構造改善費用（別途お知らせの希望退職募集により発生する費用を含む）を計上しますが、平成25年8月8日に公表しました特別修繕引当金戻入額を特別利益に計上したため、当期純利益は予想を上回る見込みとなりました。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上